



第 1 章 策定の目的

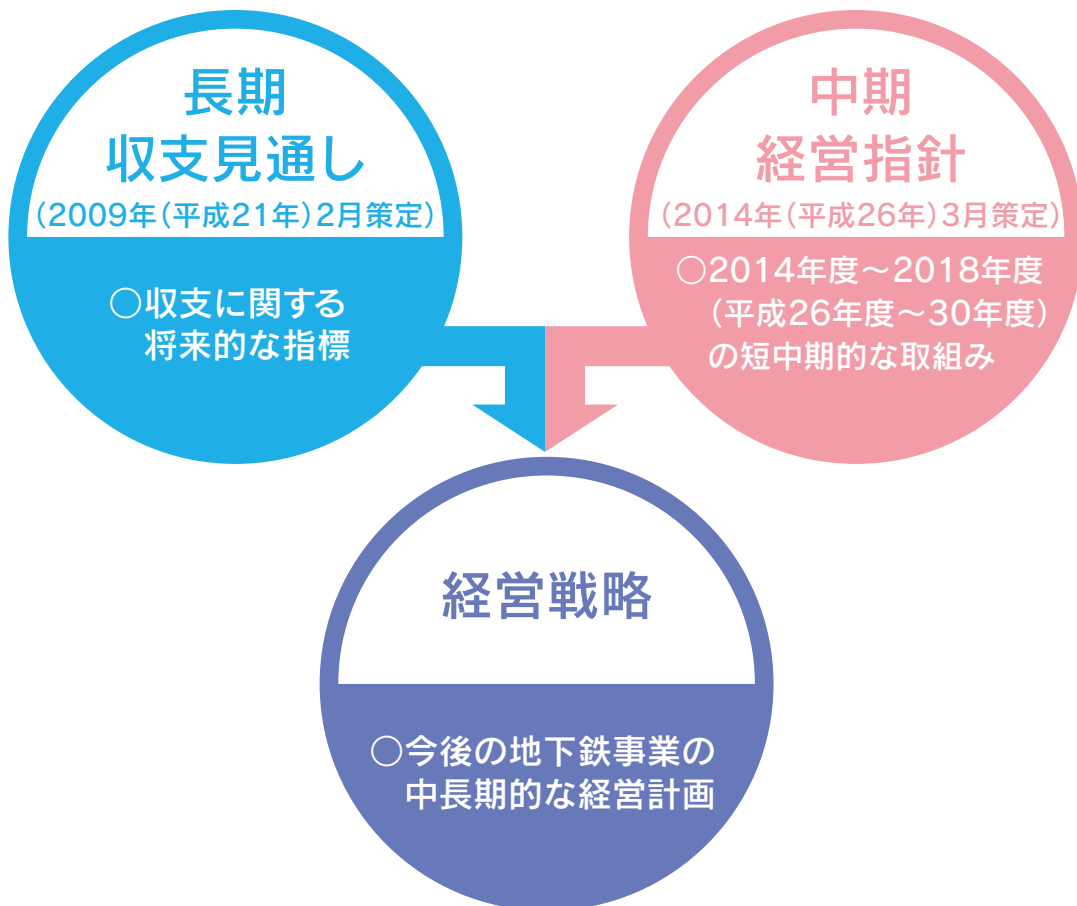
第1章 策定の目的

1 策定の目的

- ▶ これまで、福岡市交通局では、健全な経営を行う上での将来の指標である「福岡市地下鉄長期収支見通し(2009年(平成21年)2月策定)」(以下「長期収支見通し」という。)や、短中期の取組みを示した「福岡市地下鉄中期経営指針(2014年(平成26年)3月策定)」(以下「中期経営指針」という。)により、計画的な地下鉄経営に取り組んできました。
- ▶ 今後は、高齢化のさらなる進行や外国人利用客の増加などにより移動手段に対するニーズの多様化が進んでいくと考えられます。また、今後、地下鉄開業40年という節目を迎え、施設・車両などの経年劣化に対応するため、計画的な修繕・更新などを進める必要があり、設備投資などの増加が想定されます。
- ▶ 福岡市交通局としましては、引き続き、安全・安心を最優先に、これからの時代にあつた利用者サービスや施設の改良などについても機を逸することなく行っていかなければならないと考えています。
- ▶ 2014年度(平成26年度)に、総務省より各公営企業に対して、中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」の策定が求められており、団体毎の策定状況が毎年公表されるなど、全国的な策定推進が図られています。
- ▶ このような状況を踏まえ、福岡市交通局では、経営の基本的な方針を示すとともに、安全・安心の確保やお客様サービスの向上などの総合的な取組方針を示した、経営全般に関する中長期的な計画として、「福岡市地下鉄経営戦略」を策定します。

2 計画の位置付け，計画期間など

- ▶ 新たに策定する経営戦略は，乗車人員の好調な伸びなどにより，実績との乖離が生じてきている長期収支見直しを見直すとともに，2018年度（平成30年度）に終期を迎える中期経営指針と統合・刷新して，経営の健全化を図りながら，将来にわたって安全で快適な輸送サービスを提供していくための「中長期的な経営計画」と位置付けています。



- ▶ 計画期間は2019年度（平成31年度）～2028年度の10年間です。
- ▶ 経営戦略の実践にあたっては，毎年度進捗管理を行うとともに，5年程度で見直しを行い，PDCAサイクル※を機能させます。

※PDCAサイクル：政策の企画立案(Plan)，実践・執行(Do)，評価・点検(Check)，改革・対策(Action)の繰り返しにより経営管理を行う手法のこと。